

- 問1 別海町を含む北海道東部の地域で、稲作や一般的な畑作よりも酪農が著しく発達した地理的な要因は何か。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- 大都市である札幌に近接しており、新鮮な牛乳を迅速に出荷できる立地条件にあるから
 - 冬の積雪量が非常に多く、豊富な雪解け水を利用して大規模な水田耕作が可能だから
 - 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから
 - 火山灰性の土壌が広がっており、水はけが良すぎるため根菜類の栽培に特化しているから
- 問2 日本最大の面積を持つ地域における産業構造の特徴について、統計資料から読み取れる傾向として適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- 日本最大の面積を持つが、寒冷な気候のため水稲栽培は行われず、サービス業などの第3次産業が就業者の大半を占める。
 - 大規模な土地利用による農業は衰退しており、現在は製造業と観光業のみが地域の主要な産業となっている。
 - 製造品出荷額等が約25兆円と極めて高く、第2次産業の就業者割合が第3次産業を大きく上回っている。
 - 広大な土地を利用した大規模な水稲栽培などの農業が盛んである一方、第3次産業の就業者割合は約6割強にとどまっている。
- 問3 都道府県別にみた観光地の特徴に関する統計において、自然の観光地数が90か所以上、レクリエーション地数が250か所以上と際立って多い一方で、国指定の重要文化財（建造物）の数は30か所未満にとどまるという特徴を持つ都道府県はどこか、次の中から選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- 奈良県
 - 北海道
 - 東京都
 - 京都府
- 問4 北海道の観光資源の統計を見ると、自然景観やレクリエーション施設の数が非常に多い一方で、古い歴史的建造物の数は京都府などと比べて少ないという特色があります。このような観光構造が形成された歴史的・地理的背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- 古くから日本の政治・文化の中心地であったが、木造建築よりも石造りの自然公園を重視する独自の文化が育まれた。
 - 戦災によって歴史的建造物の大部分が消失したため、戦後の復興期にレクリエーション施設を重点的に整備した。
 - 明治時代以降に大規模な開拓が進められたため、古い寺院などの建造物は少ないが、広大な自然環境が観光資源として活用されている。
 - 自然遺産の保護を最優先する法律によって、歴史的建造物を新しく重要文化財に指定することが制限されている。
- 問5 日本の主要都市における1月の気候データにおいて、1月の平均気温がマイナス5度付近と極めて低く、かつ1月の降水量が100ミリメートル未満という特徴を持つ都市として最も適切なものを選んでください。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- 大阪市
 - 金沢市
 - 札幌市
 - 宮崎市
- 問6 北海道の農業は、広大な土地を活かした大規模経営が特徴です。農家一戸あたりの耕地面積が全国平均と比べて極めて大きい背景や、その生産体制に関する説明として正しいものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- 冷害を避けるために、ビニールハウスなどの施設を小規模な土地に密集させて栽培する方法が普及した
 - 明治時代以降の開拓により一区画の農地が広く設定されたため、大型機械による効率的な生産が進んだ
 - 農業産出額を増やすために、狭い土地に多くの肥料や労働力を投入する集約的な農業が発達した
 - 山がちで複雑な地形が多いため、小さな耕地を多数の農家で分け合い、人力による丁寧な管理が行われている
- 問7 北海道において、近年、冬季の外国人宿泊者数が夏季の宿泊者数を上回るほどに急増している背景として、最も適切な理由はどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- 冬季は夏季に比べて航空運賃や宿泊代金が大幅に安くなるよう、国と地方自治体が連携して大規模な割引政策を継続しているため。
 - 夏季の北海道は梅雨の影響で天候が不安定になることが多く、天候の安定した冬季に観光客が集中するようになったため。
 - 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。
 - 冬季の農閑期を利用して、外国人観光客を対象とした大規模な農作業体験ツアーが全道各地で定着したため。
- 問8 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- 労働力集約型による小規模経営
 - 伝統的な手作業を中心とした多角経営
 - バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業
 - 大型の機械を活用した大規模経営
- 問9 北海道の石狩平野における大正時代から現代にかけての地形の変化について、統計や地図上の情報を文章で説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。
 - 河川を完全に埋め立てて住宅地としたため、現在は鉄道を中心とした放射状の道路網が広がっている。
 - 海岸付近の流路をあえて蛇行させることで砂浜の浸食を防ぎ、現在は広大な塩田として利用されている。
 - 山間部の流路を直線化したことで大規模な扇状地が形成され、現在は一面の畑地となっている。
- 問10 北海道の自然環境における気温の分布について、一月の平均気温がマイナス十二度からマイナス三度の範囲であるのに対し、八月の平均気温は十八度から二十七度の範囲となっています。沿岸部にある稚内市役所付近の地点と、北海道で最も標高が高い地点を比較した際、特に夏季において平均気温に大きな開きが生じる主な要因として正しいものを次から選びなさい。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- 標高の違いによる気温の変化
 - 暖流と寒流がぶつかる潮目の影響
 - 緯度の違いによる日照時間の差
 - 季節風（モンスーン）の遮断
- 問11 北海道の酪農において、近年の統計で見られる「飼育戸数が減少しているにもかかわらず、全体の生乳生産量が増加している」という現象の背景にある、生産体制の工夫を説明する用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- 減反政策と多角経営
 - 地産地消と手作業の重視
 - 経営規模の拡大と機械化
 - 施設園芸農業と有機栽培
- 問12 ある北海道の自治体の農業産出額を確認したところ、乳用牛の産出額が突出して高く、一方で米や野菜の産出額はほぼゼロに近いという特徴が見られた。この自治体が位置する場所として最も適当なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- 石狩川下流の石狩平野
 - オホーツク海沿岸の平野部
 - 北海道中央部の盆地帯
 - 根室半島付近の根釧台地